

本紙の読み進め方

本紙では、Windows 2000/XP で共通する手順を Windows XP での手順（画面）で説明し、Windows 2000/XP で手順が異なる場合は Windows 2000 の手順を マークで説明しています。Windows 2000 をご使用の場合は、STEP 1 から まで、 マークの説明にしたがって作業を進めてください。

1 同梱物を確認しよう * 不足するものがある場合は、弊社サポートセンターにご連絡下さい。

- ・はじめにお読みください
(A5 サイズ、製品保証書も兼ねております)
- ・corega WLCB-11 本体
- ・電波干渉注意ラベル
- ・ドライバーディスク (CD-ROM)
- ・シリアル番号シール
- ・インストールガイド (本紙)
- ・設定ガイド (全 OS 共通)

安全のために 必ずお守りください

警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない
本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない
感電の原因となります。

異物を入れない 水は禁物
火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

湿気やほこりの多いところ
油煙や湯気のある場所には置かない
火災や感電の原因となります。

高温注意
本製品の使用直後は高温になっています。不用意に触ると、火傷の恐れがあります。

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所(結露するような場所)
- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所(湿度80%以下の環境でご使用ください)
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所(静電気障害の原因となります)
- ・腐食性ガスの発生する場所

静電気注意
本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクタの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

取り付け・取り外しのときの注意
コンピュータのPCカードスロットに本製品を取り付ける作業は、必ず本マニュアル及び、ご使用のコンピュータのマニュアルを参照の上正しく行ってください。

長期保管時は袋に入れて
本製品を長期にわたって保管する場合は、必ず添付の袋(静電防止)に入れてください。

お手入れについて

取り扱いはていねいに
落としたり、ぶついたり、強いショックを与えないでください。

清掃するときは電源を切った状態で
誤動作の原因となります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く
汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤(中性)をしみこませ、強く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

お手入れには次のものは使わないでください
石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん(化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください)

中性洗剤使用
ぬらすな 強く絞る

シンナー類不可

電波に関する注意

本製品を下記のような状況でご使用になることはおやめください。また設置の前に、「安全のために」を必ずお読みください。

- ・心臓ペースメーカーをご使用の近くで、本製品をご使用にならないでください。
- ・心臓ペースメーカーに電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
- ・医療機器の近くで、本製品をご使用にならないでください。
- ・医療機器に電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
- ・電子レンジの近くで、本製品をご使用にならないでください。
- ・電子レンジによって、本製品の無線通信への電磁妨害が発生します。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の周波数を変更して、混信を回避してください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

2 パソコンの確認をしよう

STEP 1 Windows 2000/XP がパソコン購入時にすでにインストールされていた場合、Windows 2000/XP のバックアップ CD-ROM があるか確認しましょう。もし無い場合は、Windows 2000/XP のマニュアル等を参照して、バックアップをフロッピーディスク等に必ずとりましょう。バックアップ方法に関しては、PC メーカーにご確認ください。

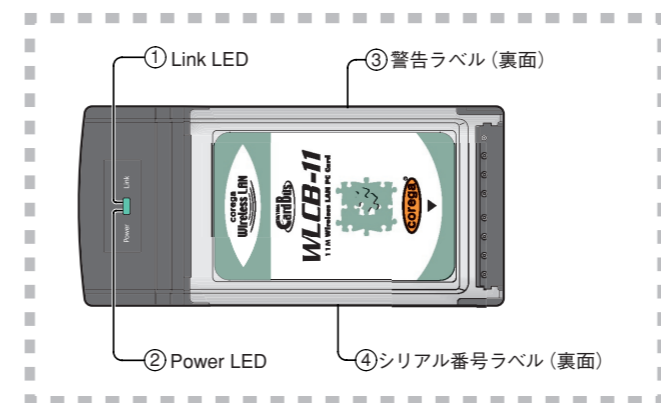
STEP 2 「スタート」→「マイコンピュータ」を選択します。ご使用のパソコンの CD-ROM ドライブを確認し、ドライブ名をメモしておきます。

「マイコンピュータ」をダブルクリックします。ご使用のパソコンの CD-ROM ドライブを確認し、ドライブ名をメモしておきます。

注意 あらかじめ、ご使用のパソコンの CD-ROM ドライブを必ずご確認ください。ここでは、CD-ROM ドライブを「D:」と仮定しています。



3 外観図と各部の機能



- ① Link LED**
点灯：Link が確立している状態
点滅：Link が確立していない状態
消灯：電源が供給されていない状態
- ② Power LED**
点灯：電源が供給されている状態
消灯：電源が供給されていない状態
- ③ 警告ラベル (裏面)**
本製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されています。必ずお読みください。
- ④ シリアル番号ラベル (裏面)**
本製品のシリアル番号(製造番号)とリビジョンが記入されています。同じものが、3枚同梱されており、パッケージ(外箱)にも貼付されています。同梱されているシリアル番号シールは、「製品保証書」に貼付してください(残る2枚は予備です)。シリアル番号とリビジョンは、ユーザーサポートへの問い合わせ時に必要な情報です。

4 パソコンに取り付けてドライバーをインストールしよう

STEP 1 パソコンの電源を入れて、「コンピュータの管理者」が同等の権限を持つユーザ名でログオンします。

STEP 2 パソコンの電源を入れて、「Administrator」が同等の権限を持つユーザ名でログオンします。

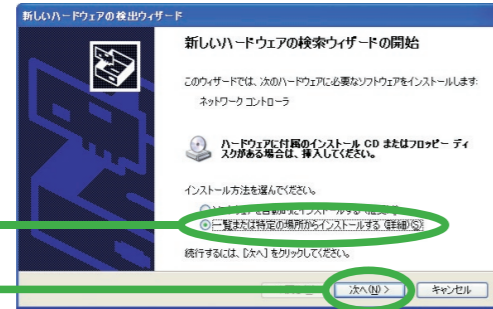


STEP 2 本製品をパソコンの PC カードスロットに奥までしっかり挿し込みます。

警告 CardBus 非対応の PC カードスロットには、絶対に本製品を挿入しないでください。無理に挿入しようとすると、カードまたは PC カードスロットを破損させる恐れがありますので、ご注意ください。

STEP 3

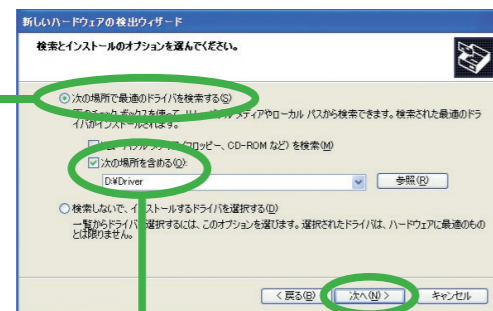
1. 「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択して「次へ」をクリック



1. 選択オプションがないのでそのまま「次へ」をクリック
2. 次のダイアログボックスで「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」をクリック

STEP 4

1. 「次の場所で最適なドライバを検索する」を選択し「リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROMなど）を検索」のチェックをはずして「次の場所を含める」にチェックを付ける
2. 「D:¥Driver」と入力
3. 製品付属のドライバーディスク（CD-ROM）をパソコンのCD-ROMドライブに挿入
4. 「次へ」をクリック



- ドライバーファイルを検索する場所のオプションを特定します。
1. ダイアログボックスで「場所を指定」のみを選択して「次へ」をクリック
 2. 製品付属のドライバーディスク（CD-ROM）をパソコンのCD-ROMドライブに挿入
 3. 「製造元のファイルのコピー元」欄に「D:¥Driver」と入力
 4. 「OK」をクリック
 5. 最適なドライバの検索結果で「d:¥Driver¥CW11.INF」と表示されているのを確認
 6. 「次へ」をクリック



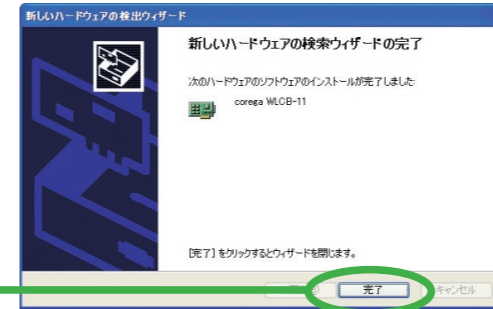
ここでは、CD-ROMドライブを「D:」と仮定しています。手順2「パソコンの確認をしよう」で確認したドライブ名に読みかえてください。



STEP 4 の操作をすると、Windows XP/2000 両方ともハードウェアとの互換性やデジタル署名についての警告メッセージが出ることがありますが、弊社にて動作確認をとっておりますので、「はい」または「続行」をクリックし先にお進みください。

インストール完了!!

「完了」をクリック



これでドライバーのインストールは終了です。続いて「5. ドライバーを確認しよう」へお進みください。

5 ドライバーを確認しよう

STEP 1

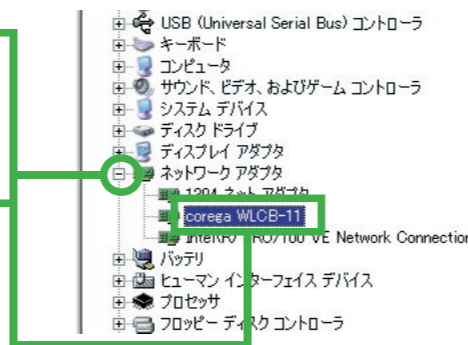
「スタート」→「マイコンピュータ」から「システム情報を表示する」をクリックし「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」をクリックします。



「マイコンピュータ」を右クリックし「プロパティ」から「ハードウェア」タブを表示して「デバイスマネージャ」をクリックします。

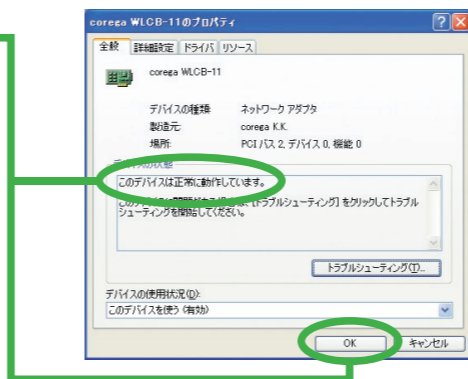
STEP 2

1. 「ネットワークアダプタ」を展開
2. 「corega WLCB-11」と表示されていたら、ダブルクリック



STEP 3

「このデバイスは正常に動作しています」と表示されていればインストールは正常に終了しています。「OK」をクリックして画面を閉じてください。



6 無線 LAN カードを取り外す

PC カードスロットから無線 LAN カードを取り外すときは、次の手順で取り外さないと、コンピューターが正常に動作しなくなることがあります。



この作業は Windows 2000 の場合のみになります。Windows XP の場合は、デスクトップ右下のタスクトレイ（通知領域）にある は表示されません。コンピューターの電源を切った後、無線 LAN カードを取り外してください。

STEP 1

デスクトップ右下のタスクトレイ（通知領域）にある をクリックする。

「corega WLCB-11 を停止します」というポップアップメニューが表示されます。

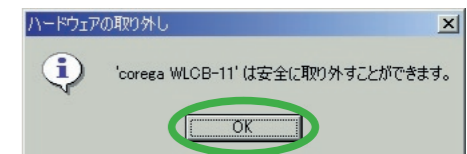
STEP 2

1. [corega WLCB-11 を停止します] をクリックする。
2. PC カードを取り外せる旨のメッセージが表示されます。



STEP 3

[OK] をクリックする。



STEP 4

コンピューターの PC カードスロットから本製品を取り外す。